

評価者	共創計画部長	比留間 彰
評価者	都市整備部長	樋田 浩一

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	道路・交通体系の検討
目標とすべきまちの姿	地域の実情を考慮した都市計画道路の見直しが行われました。 自動車利用を抑制する等の交通需要マネジメント施策が進み、交通環境の改善が進んでいます。 地域住民、関係機関と協働し、歩行者を優先した交通体系が構築されたことで、快適で安全な市民生活が確保されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	18.1%	平成30年度(2018年度)	16.4%	平成29年度(2017年度)	18.1%
	平成28年度(2016年度)	19.2%	平成27年度(2015年度)	19.0%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.6%	0.6%	0.2%
ちょうどよい	2.4%	30.2%	0.2%
効果不十分	8.8%	11.4%	19.8%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.3%	0.5%	0.0%
ちょうどよい	1.3%	22.5%	1.0%
効果不十分	10.2%	10.6%	29.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.2%	0.7%	0.4%
ちょうどよい	0.5%	27.6%	0.7%
効果不十分	6.0%	10.7%	29.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.2%	1.2%	0.9%
ちょうどよい	2.3%	27.9%	0.2%
効果不十分	6.9%	9.6%	25.2%

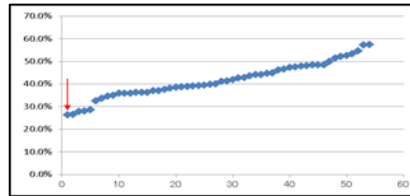
仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	0.6%	0.3%
	ちょうどよい	1.3%	26.3%	0.4%
	効果不十分	6.0%	10.2%	28.2%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	35.2%	32.6%	8.3%	23.8%
平成30年度(2018年度)	48.8%	24.5%	5.3%	21.5%
平成29年度(2017年度)	43.4%	28.3%	5.3%	23.0%
平成28年度(2016年度)	39.6%	31.4%	4.6%	24.3%
平成27年度(2015年度)	42.2%	27.0%	5.6%	25.2%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

◎共創計画部

- ①パークアンドライド及び鎌倉フリー環境手形の利用者数の増加に向け、協賛店舗の更なる拡大を目指すとともに、大船・深沢地域での新規パークアンドライド駐車場の設置に向けた検討を引き続き行う。(共創-05)
- ②鎌倉市交通計画検討委員会等を開催し、鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた検討を引き続き進めていく。(共創-06)
- ③国土交通省や鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会の動向を踏まえ、鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会において、(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に当たり課題となっている法制面や課金方法等といった問題を一つひとつ整理し、関係省庁と調整を図り、課題解決に向けて取組む。(共創-06)
- ④(仮称)鎌倉ロードプライシングの周知活動として、市民や商工業者との意見交換会を継続して開催することやシンポジウムの開催を進めるとともに、近隣自治体への説明についても丁寧に行っていく。(共創-06)

◎都市整備部

- ①鎌倉駅東口駅前広場整備事業については、駅利用者や車両の通行が多いため工事期間中は安全確保に留意するとともに、スケジュールに遅れが生じないよう施工管理業務と連携しながら着実に進めていく。(都整-11)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

◎共創計画部

- ①パークアンドライド及び鎌倉フリー環境手形の利用者数増加や、大船・深沢地域での新規パークアンドライド駐車場設置により、鎌倉地域での交通渋滞緩和が期待される。(共創-05)
- ②歩行者専用道路の実施については、地域住民及び関係機関と協働し、自動車中心の道路状況から歩行者を優先した交通体系が構築されることで、交通事故の無い、快適で安全な市民生活が確保されることを目指す。(共創-06)
- ③④(仮称)鎌倉ロードプライシングについては、料金抵抗により選択性を持たせることで、鎌倉地域内の交通渋滞緩和が期待できるほか、市民と観光客が共存できるまちづくりを目指す。(共創-06)

◎都市整備部

- ①鎌倉駅東口駅前広場整備を着実に進めることで、広場利用者が車両の安全性、利便性などの向上を図ることにより快適な市民生活の確保を目指す。(都整-11)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
共創-05	交通環境整備事業	3,508	3,115	2.1	2.1	無	b	A
共創-06	交通体系整備事業	120	30,733	3.4	3.4	無	b	A
都整-11	鎌倉駅東口駅前広場整備事業	7,785	74,116	1.1	1.1	無	b	B

**(4) 主な実施内容**

<p><b>【主な実施内容】</b></p> <p><b>◎共創計画部</b></p> <p>①パークアンドライドの利用促進を図るため、観光パンフレットにシステム内容を掲載し、PRを行った。また、更なる利用促進に向け、寺社及び店舗から引き続き、協賛の協力を得た。(共創-05)</p> <p>②整備優先順位が1位の小町大路(辻説法通り)の歩行者尊重道路について、交通管理者等との協議・調整・計画見直し等を行い、ナッジ(行動インサイト)の観点を取り入れた形で計画案を再検討し、施工案の取り纏めを行った。(共創-06)</p> <p>③令和2年1月8日に、第3回鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会を開催し、(仮称)鎌倉ロードプライシングに関する検討状況の共有、(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討に係る課題と短期的な渋滞対策、今後の進め方についての検討を行った。また、令和2年1月15日には、「ロードプライシングの早期実現に関する要望書」を国土交通省に提出し、ロードプライシングの早期実現を目指した、より一層の制度的、技術的な支援等を要望した。(共創-06)</p> <p><b>◎都市整備部</b></p> <p>①平成30年度に引き続き、鎌倉駅東口駅前広場整備工事、鎌倉駅東口駅前広場整備工事(土木) 監理等業務委託及び鎌倉駅東口駅前広場整備工事(建築) 監理等業務委託を実施した。(都整-11)</p> <p><b>【実施できなかった事業とその理由等】</b></p> <p><b>◎共創計画部</b></p> <p>④(仮称)鎌倉ロードプライシングの周知活動として実施予定であった市民や商工業者との意見交換会やシンポジウム、近隣自治体への説明については、現状ではロードプライシングの法制度や技術面等の専門的な課題を検討している段階であるという理由から、実施できなかった。(共創-06)</p>
---

**(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価**

<b>◎共創計画部</b>	
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
<b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>	
<p>・パークアンドライドの利用促進を図るための取組を進め、また、雑誌社との連携による紹介記事の掲載、鎌倉フリー環境手形の利用促進のためのモデルコース紹介などに取組んだが、渋滞解消などの交通環境の改善には至っていない。(共創-05)</p> <p>・小町大路(辻説法通り)について、交通管理者等との協議・調整・計画見直し等を行い、ナッジ(行動インサイト)の観点を取り入れた形で計画案の再検討し、施工案の取り纏めを行ったが、事業の目的である沿道住民を巻き込んだ環境改善までには至らなかった。(共創-06)</p> <p>・令和2年1月8日に、第3回鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会を開催し、(仮称)鎌倉ロードプライシングに関する検討状況の共有、(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討に係る課題と短期的な渋滞対策、今後の進め方についての検討を行うとともに、令和2年1月15日に、「ロードプライシングの早期実現に関する要望書」を国土交通省に提出し、ロードプライシングの早期実現を目指した、より一層の制度的、技術的な支援等の要望を行うなど、様々な取組を進めたが実証実験に至らなかった。(共創-06)</p> <p>・このため、効率性、妥当性、有効性、公平性ともに要改善とした。</p>	
<b>◎都市整備部</b>	
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
<b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>	
<p><b>◎都市整備部</b></p> <p>令和元年度は鎌倉駅東口駅前広場整備工事に着手し、令和2年度の工事完成に向けて継続しているが、工事に係る取り組みは適切に対応できたと考えている。(都整-11)</p>	

**3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)**

整理番号	共創-05	事業名	交通環境整備事業							
指標の内容	パークアンドライド、鎌倉フリー環境手形の利用率					単位	台+枚	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
当該事業の実施により、自動車から公共交通への転換を図っているため。	目標値	29,000	30,000	30,000	30,000	38,000	38,500			
	実績値	34,798	36,626	37,307	37,389	32,640	25,878			
	達成率	120.0%	122.1%	124.4%	124.6%	85.9%	67.2%			